

梅檀

自然と一緒に一日過ごす 三年生比地大滝 フィールドワーク



九月二十日、国頭村の三年生は比地大滝にて自然体験学習を行いました。午前中は比地大滝の道のりを散策しました。ガイドさんの話を聞きながら、マタラコオロギやアオミオカタニシ、外来植物のオシギソウなど、たくさん生き物や植物を見たり触ったりして、勉強していました。途中から川遊びです。カニを探す子、水の流れを楽しむ子、水をかけあう子、それぞれがやんばるの自然を満喫していました。午後はクイチやんとやんばるの自然のお勉強をした後、木の卵に絵を描きました。クイチの絵や草木の絵とても個性的でかわいい絵ができました。学校に帰ってきたときの眠そうな顔を見て、今日は自然をめいっぱい楽しんだのだなと思いました。

みんなの前でがんばった！

国頭村童話お話大会



九月二十五日、村の童話お話大会がありました。本校の代表として、低学年の部、長谷川朔久さん、新里色さん、高学年の部、山本葉月さんが発表しました。たくさん人の前でとても緊張していましたが、三人とも原稿を覚えて、大きな声で発表することができました。審査の結果、新里色さんが最優秀賞、長谷川朔久さんと山本葉月さんが優秀賞に輝きました。色さんは国頭地区大会に出場します。

カフトムシに興味津々 三年生



九月二十五日、沖縄イチムシ会の国仲康浩さん達をお招きし、カフトムシ講座を開きました。沖縄の固有種「おきなわカフトムシ」の大切さを教えてもらい、カフトムシの幼虫を一人一匹いただきました。昨年の子どもたちは幼虫を見て「キヤー」と声を上げていたのですが、今年の子どもたちは全然怖がる様子もなく、どんどん捕まえていきます。その後国仲さんに「水はいつ頃どのくらいあげるのか」「餌はいらないのか」「どのくらいでさなぎになるのか」など、たくさん質問をしました。子どもたちは、幼虫が成虫になったことを想像して、目は輝いていました。

二年生の大きな成長

おもちゃランド

九月二十六日、二年生はおもちゃを作り、こども園の五歳児と一年生に楽しんでもらう企画「おもちゃランド」を行いました。はじめはともそわそわしていましたが、いざ始めると、おもちゃの遊び方を教えてあげ、成功すると景品をあげていました。一年前は今の三年生に手を引っ張られて「ちゃんと座って」「話を聞いて」と言われていたのに、今ではちゃんと並ばせたり、一生懸命説明したり、本当にお兄ちゃんお姉ちゃんになったなと感心しました。最後、一年生・五歳児は両手一杯に景品を抱えながら、「楽しかった」と言っていました。たくさん景品も二年生が用意したのです。すごい！

